



授業参観者の手引き

(暫定版)

広島県立教育センター 教科教育部



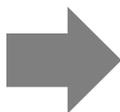
学びをつなぐ できるにつなぐ
Innovation from Hiroshima
広島県立教育センター

目次

はじめに	1
1 目指す教師の具体的な姿の例	1
2 研究授業を行う前に	2
ウォーミングアップ	
「大切なこと」を思い出してみましょう。また、そのこと について交流しましょう。	3
3 研究授業について	4
ステップ1	
学校の研究主題について理解しましょう。	5
ステップ2	
学習指導案を読んだり、授業者の思いを聞いたりしましよ う。	5
4 授業を見る視点を明らかにする	6
ステップ3	
授業参観者として考えましょう。	7
ステップ4	
授業を参観し、事実と解釈を分けて書きましょう。	8
ステップ5	
授業参観シートを基に、授業を振り返りましょう。	11
ステップ6 継続的な学びのために、振り返りましょう。	13
引用文献	13

はじめに

本手引においては、「**授業参観者**」に光を当てます。研究授業を、そこに参加する**全ての人**にとっての学びの場としていくことを目指します。



授業参観者として、何を見るのか。
どのような気付きがあるか。
どのような学びがあるのか。
どのように生かすか。

※ 学校における授業研究の進め方や授業研究のPDCAサイクルをよりよく機能させることについては、平成26年3月広島県立教育センター「授業研究ハンドブック—学校における授業研究の質的向上を目指して—」が参考になります。



1 目指す教師の具体的な姿の例

○自身の**課題意識**に基づき、日常的に他の教師の**授業を参観したり**、課題解決につながる**情報を収集したりする**。



○**授業を見る視点に基づき**、**授業を参観する**。



協働的な学びを促す指導の工夫について学びたいから、グループ活動における生徒たちのやり取りに着目して授業を参観しよう。

○事後協議において、授業を見る視点に基づき、**記録したことについての自身の解釈を述べる**。

研究主題に関連して、○○に着目して授業を参観したのですが、ペアトークの中で、△△という生徒の姿が見られました。このような姿は、□□を行うことによって引き出されたものだと考えます。



○自身の課題意識に基づき、**校内研修に自分なりの意義を見いだしたり**、**意図的に校外研修を受講したりする**。



○研究授業を参観して得た**学びを自身の授業に生かす**。

2 研究授業を行う前に

こんなの、もったいな〜い



先輩の先生の授業だし、意見が言いにくいな…

他教科の授業はよく分からないから黙っていいのかな…



授業者と授業参観者の思いを共有しよう！

「授業者の思い」と「授業参観者が日々の授業で大切にしていることや、明らかにしたい課題」を同僚と共有し、協議や対話を活性化しましょう。

授業参観者も研究授業の当事者です！

授業参観者が自身の「授業を見る眼」を磨くことが大切です。

誰もが安心して発言できる場にしよう！

経験年数に関係なく、誰もが安心して自分の意見を発信できるような雰囲気を作りましょう。



ウォーミングアップ

「大切なこと」を思い出してみましょう。

また、そのことについて交流しましょう。

(1) あなたは、なぜ教師になろうと思ったのですか。また、どんな教師になりたいですか。

(2) 教師になって良かったと思える時、教師としての充実感を得られる時はどのような時ですか。



3 研究授業について

- 研究授業は、教師の力量形成の中核的な活動です。¹⁾
- 研究授業では、授業者の「授業のうまさ」よりも、その授業にどのような意味や価値を見出すことができるかという、授業参観者の一人一人の「授業を見る眼」が問われます。²⁾

- 本手引きにおける研究授業の捉え方

- 授業改善を目的として教師間に公開される授業を中核とした協働的な学びの場。
- 事前協議、事後協議等の一連の取組や、授業後に行われる授業改善に向けた継続的な取組も含める。

- 研究授業に意義をもたせるために大切なこと

- 授業を見る視点を明らかにすること。(意思決定資本※コラムの充実)
- 教師間の協働、ネットワークを豊かにすること。(社会関係資本※コラムの充実)

コラム「授業参観者の三つの資本」

教育研究者のハーグリーブスらは、資本概念によって教師の専門性を整理し、三つの資本によって教師の専門職の資本が成立するというアイデアを提案しました。³⁾

表1 専門職としての教師の三つの資本

人的資本	個人の特性（知識、技術、理解、情動性知能、適性、心構え等）
社会関係資本	教師間の協働、ネットワーク等
意思決定資本	不確実な状況下での判断力・決断力、経験と実践と省察等

(Hargreaves, A. & Fullan, M (2012=2022) を基に作成⁴⁾)

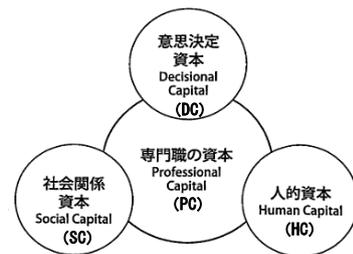


図1 専門職の資本の公式⁵⁾

ハーグリーブスらの言う三つの資本を、研究授業における授業参観者のもつ資本に適用してみると表2の通り整理できるものと考えます。

表2 研究授業における授業参観者の三つの資本

人的資本	教科等の指導に係る知識・技能、子どもを理解する力
社会関係資本	研究授業によってより豊かになる教師間の協働、ネットワーク等
意思決定資本	授業を見る視点（スコープ、フォーカス、レンズ、スタンス）を明らかにした授業参観、記録に基づく解釈、自身の経験や実践と照らし合わせた省察

- 研究授業を実施する前に、次のことについて共通認識を図りましょう。

- 学校で定めた授業研究の研究主題
- 学校教育目標に基づいた育成したい資質・能力、目指す生徒の姿
- 生徒の実態
- 授業者の思い、授業のねらい

ステップ1 学校の研究主題について理解しましょう。

(1) 学校の研究主題は何ですか。

(2) その研究主題が設定された理由となる学校や生徒の現状はどのようなものですか。

ステップ2 学習指導案を読んだり、授業者の思いを聞いたりしましょう。

(1) 授業者が明らかにしたい課題は何ですか。

(2) 授業者は、何に/誰に焦点を絞って、どのような範囲で授業を見て欲しいと思っていますか。

4 授業を見る視点を明らかにする

授業を見る視点は、スタンス、レンズ、スコープ、フォーカス、という四つの構成要素の組み合わせで成り立つとされています。⁹⁾

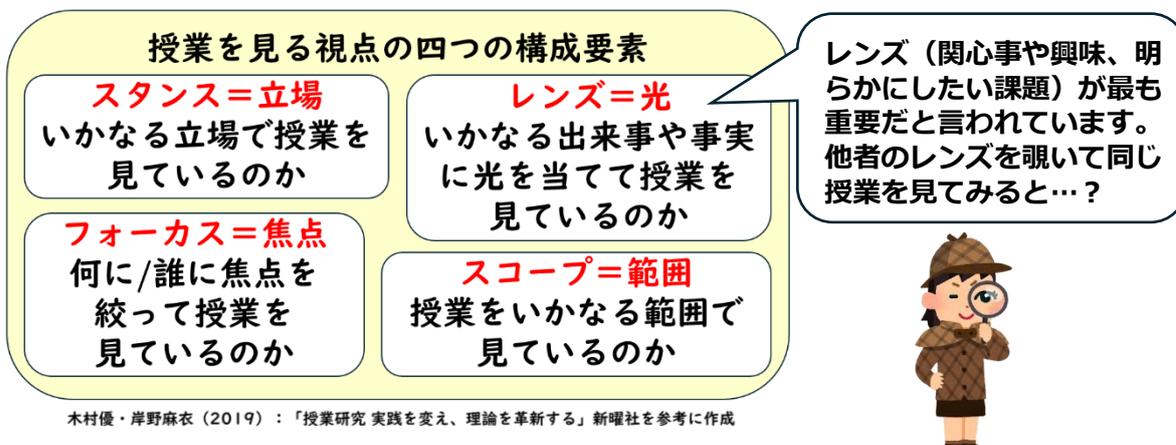


表3 授業を見る視点の四つの構成要素

<p>スタンス </p> <p>【いかなる立場で授業を見るのか】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○研究授業に臨む参観者の心構え 授業者と同じ教え手（教師）、子どもと同じ学び手（学習者）、授業の指導助言者、授業の評価者等 ○学校内外の役割 管理職、研究主任、生徒指導主事、担任、一時的な参観者等
<p>レンズ </p> <p>【いかなる出来事や事実 に光を当てて 授業を見るのか】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に対する関心事や興味、明らかにしたい課題 グループ間での学習過程の相違、グループ間での相互評価、グループやペアによる子どもたちの協働学習、子どもの思考や判断といった認知の展開、子どもが授業で身に付ける能力やその評価方法等
<p>フォーカス </p> <p>【何に/誰に焦点を絞って授業を見るのか】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空間的：グループ間の相互作用、グループ活動やペア活動における子どもたちの相互作用、子ども一人ひとりの言動等 ○物理的：教材・教具やワークシートのづくり、掲示の内容、学習指導案の展開、資料の構成等 ○時間的：実際の授業の展開、授業単元のつながり、授業と他教科の授業との関連性、授業と学校文化との関連性等
<p>スコープ </p> <p>【いかなる範囲で授業を見るのか】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空間的：学級全体、複数グループ、特定のグループ、ペア、一人の子ども等 ○物理的：教室、教材・教具、ノート、ワークシート、デジタル機器、学習指導案、各種資料等 ○時間的：1時間の研究授業、研究授業を含めた前後の授業、単元全体、年間カリキュラム等

木村優・岸野麻衣（2019）：「授業研究 実践を変え、理論を革新する」新曜社を参考に作成

ステップ3 授業参観者として考えましょう。 ※表3参照

(1) 研究授業において、どのような立場で授業を参観しますか。 **スタンス**



(2) 授業を参観することで明らかにしたい自身の課題は何ですか。 **レンズ**



(3) (2) で設定した課題と学校で設定された研究主題等には、どのような関連がありますか。

(4) (3) を踏まえて、また、他の授業参観者のレンズ（授業を参観することで明らかにしたい課題）を知ることを通して、(1)・(2) を見直し、必要に応じて調整しましょう。

(5) (4) で調整したスタンス、レンズで研究授業を参観するために、何に/誰に焦点を絞って授業を見ますか。 **フォーカス**



(6) (4) で調整したスタンス、レンズで研究授業を参観するために、授業をどのような範囲で見ますか。 **スコープ**



ステップ4 授業を参観し、事実と解釈を分けて書きましょう。

【授業参観シート】

あなたの スタンス（立場）	あなたのレンズ（明らかにしたい課題）	あなたのフォーカス（焦点をあてる対象）とスコープ（見る範囲）

時間	学習内容	生徒の見取り（事実）	あなたのレンズを通して見たときの解釈
あなたの課題の解決に向けた収穫（気づき・学び・授業に活かしたいこと等）			

【授業を見る視点の四つの構成要素 記入例】

あなたのスタンス (立場)	あなたのレンズ (明らかにしたい課題)	あなたのフォーカス (焦点をあてる対象) とスコープ (見る範囲)
他教科の授業者	どのような指導の工夫を行えば生徒の思考を深めることができるのか。	フォーカス：授業の導入から展開への流れ スコープ：学級全体
そのクラスの担任	協働的な学びを促すことができる授業展開とはどのようなものか。	フォーカス：グループ活動における話し合いの内容 スコープ：グループ
学習に苦手意識をもっている生徒	意欲的に取り組むことができる授業とはどのようなものか。	フォーカス：生徒の行動及び記述 スコープ：特定の生徒

事例紹介①

ある学校において、授業参観シートの利用を促進するために、これまでの実践や学校の状況を踏まえて工夫したり、アレンジしたりした事例を紹介します。

□□高等学校 授業観察票

教科	科目	実施場所
実施日時 令和 年 月 日 曜日 校時	授業者	
クラス 学年 組 選択	観察者	
本時の目標 授業者より (目標達成のための手立て・工夫)		

※太枠は、授業者が記入してください。 ※下枠内は、授業参観者が記入してください。

あなたのスタンス (役割や立場)	あなたのレンズ (明らかにしたい課題)	あなたのフォーカス (焦点をあてる対象)	スコープ (見る範囲)
<input type="checkbox"/> 同じ教科の教員 <input type="checkbox"/> 他教科の教員 <input type="checkbox"/> HR担任 <input type="checkbox"/> 生徒 <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 授業展開 <input type="checkbox"/> ICT等の活用 <input type="checkbox"/> 生徒の行動や記述 <input type="checkbox"/> ()	<input type="checkbox"/> 学級全体 <input type="checkbox"/> グループ <input type="checkbox"/> 特定の生徒 <input type="checkbox"/> ()

授業展開等	生徒の様子、反応	あなたのレンズを通して見たときの解釈
あなたの課題の解決に向けた収穫 (気づき・学び・授業に活かしたいこと等)		

※このシートのコピーを教育研究部へ提出し、原本は授業者にお渡しください。

授業のねらいや構成に係る授業者の意図を共有するために、授業者があらかじめ入力する。これまでの相互授業観察票と同じ形式を残すことで、先生方の負担にならないよう工夫した。

授業を見る視点の四つの構成要素を整理し、調整する欄は、記入しやすいよう選択式とした。

「あなたのレンズ (明らかにしたい課題)」の欄は、各自の課題意識を大切にして焦点化できるように、フリー記述とした。

授業参観による気づきや授業者への感謝を伝えられるよう、最後の記述欄を大きくした。

事例紹介②

ある学校において、授業を見る視点を明らかにして研究授業を実践した際に得られた成果を紹介します。

表4 実践研究協力校における成果

	研究協力を行う前の状況	研究協力を行うことによって得られた成果
授業前	学習指導案を読むので精一杯で、他教科については理解できなかった。	スタンスを「その教科の学習が苦手な生徒」とすることで、参観する上でのハードルが下がった。
	どこに焦点を当てるかについてあまり意識していなかった。	授業を参観する際に、どこに焦点を当てるかを明確にすることで頭がクリアになった。
授業中	学習指導案のどこをやっているのかということだけを考えながら見ていた。	他教科の授業であっても自分の立場から参観することができた。
	視点があちこち動いて何をみていいかわからないままだった。	予めスタンスを決めることで、多くの気づきを得られ、事後協議後に話したいことができた。
	観察のポイントが絞れず、曖昧だった。	ポイントを絞って参観することができた。
事後協議及びその後	「他の先生方はすごいなあ、大変だなあ」という感想をもっていた。	他のスタンスからの気づきを知ることができ、それを次回の授業参観に生かしてみようと思った。
	観察する項目が多すぎて、協議内容が取っ散らかった。	協議のポイントが絞られた。
	協議内容を今後に生かしたいが、どう生かせばよいのかわからなかった。	他教科の授業であっても自分の授業に生かせそうなことがあった。
	授業全体に関わる話や、生徒全体の反応についての話が多かった。	スタンスやスコープを決めていたことで、生徒個々に関する具体的な意見がいつもより多かった。

ステップ5 授業参観シートを基に、授業を振り返りましょう。

(1) 他の人の視点で授業を見たときの解釈をメモしましょう。

視点の持ち主	解釈



(2) 自分の視点と他の人の視点で授業を見たときの解釈について、気付いたことをまとめましょう。

(3) 明らかにしたい自身の課題について、どのような学びがありましたか。また、そのことを、今後の授業改善にどのように生かしますか。具体的な行動目標があれば、それも書きましょう。



事例紹介③

ある学校において、授業を見る視点を明らかにして研究授業を実践した後に行った、振り返りの内容を紹介します。

校内研修会の後に授業を参観し、事後協議等に参加したことが、教師間の協働、ネットワークを豊かにすることにつながると思う理由。

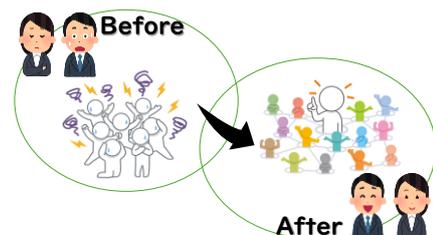
- 他の教師がどんな視点で授業を参観するのかを知ることで、教師同士の会話がはずむ。
- 視点を明らかにして授業を参観したことでいつもよりも主体的に研究授業に参加することができたので、経験や自信の無さに関係なく先輩の先生方の視点について聞いてみようと思った。
- 予めスタンスを決めておくことで、それぞれが研究授業の役割を担ったという一体感を感じることができた。
- 新しいことにチャレンジすることが授業改善につながる活力となる。
- 授業を参観する目的を統一したことで事後協議が活発になり、事後協議後も授業に関する話題が増えることにつながる。



○授業参観者の省察を促す“研究授業に係る協議や相談を促す場”として、研修会等の「フォーマルな場」を設定することが、教師間の協働、ネットワークを豊かにすることに有効です。

コラム「教師間の協働、ネットワークの重要性」

木村優（2019a）は、授業研究はときに、教師の知識や技術といった人的資本の増加や洗練を企図して行われるが、授業研究のねらいを人的資本だけに絞っても限界があり、授業研究において同僚間の専門職のネットワークを紡ぐ対話と議論を組織することで、教師は同僚の知識や技術や心構えを学び得ることや、授業の実践中には見切れない「子どもたちの学び方」を知ることが可能になると指摘する。また、授業研究会で同僚から未経験の状況判断の仕方を学び、同僚の実践をレパートリーに組み込み、同僚の実践に触発され新しい実践への挑戦を喚起することが可能になったり、同僚の実践を鏡として自らの実践を見つめ直し、実践の省察と再構成を行うことが可能となったりするなど、意思決定資本の伸張にもつながるとも指摘している。⁷⁾



ステップ6 継続的な学びのために、振り返りましょう。

※（ ）年（ ）月に行いましょう。

(1) ステップ5で得られた学びを生かし、継続的な授業改善を行っていますか。

(2) 新たに生じた課題があれば、書きましょう。

(3) 今後、どのような授業改善を行っていきたいですか。



【引用文献】

- 1) 鹿毛雅治 (2017) : 鹿毛雅治・藤本和久 (2017) : 「授業研究」を創る—教師が学びあう学校を実現するために— 教育出版p. iii 及びp. 3
- 2) 小林宏己 (2017) : 同上p. 72
- 3) 木村優・藤井佑介・三河内彰子 (2023) : 「高校における探究型カリキュラムの実践による教師・学校の成長発展メカニズム」 「カリキュラム研究」 第 32 号 p. 30
- 4) Hargreaves, A. & Fullan, M (2012=2022) : 「専門職としての教師の資本—21 世紀を革新する教師・学校・教育政策のグランドデザイン」 金子書房 pp. 200-212
- 5) 木村優 (2019b) : 「授業研究が実装する専門職としての教師の資本育成と学び合うコミュニティ成熟機能—授業研究の歴史的展開を踏まえた理論研究—」 「教師教育研究」 第 12 卷 p. 8
- 6) 木村優 (2019a) : 木村優・岸野麻衣 (2019) : 「授業研究 実践を変え、理論を革新する」 新曜社 pp. 44-49 及び p. 52
- 7) 木村優 (2019b) pp. 8-9